

# 原料費調整制度

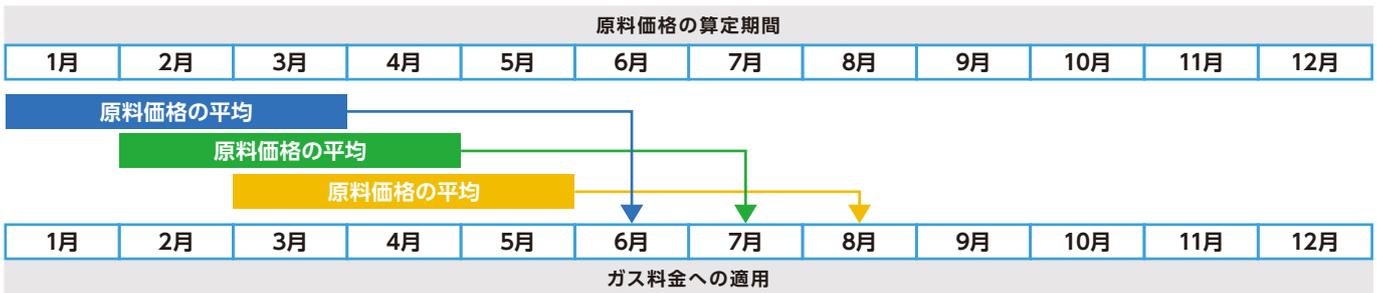
## 原料費調整制度とは

上越市では、都市ガスの原料としてLNG(液化天然ガス)やLPG(液化石油ガス)を使用しており、その原料費は為替レートや原油価格の動きによって変動します。原料費調整制度はこうした原料費の変動に応じてガス料金を調整する制度です。

$$\text{ガス料金} = \text{基本料金} + \left( \begin{array}{c} \text{従量料金} \\ \text{調整単位料金} \\ \text{基準単位料金} \pm \text{原料費調整による調整額} \end{array} \right) \times \text{ガスご使用量}$$

## 原料費調整額のしくみ

原料費の変動については、財務省の貿易統計に基づく3か月の平均原料価格と、基準となる原料価格(基準平均原料価格)を比較し、その変動分について、算定期間の最終月から3か月後の検針分に反映します。



## 原料費調整額の算定方法

毎月の調整単価料金は下記の手順により算定しています。

### ○ 平均原料価格の算定

$$\text{LNG平均原料価格} = \text{LNG平均価格 (3ヶ月平均の貿易統計値)} \times 0.9748$$

$$\text{LPG平均原料価格} = \text{LPG平均価格 (3ヶ月平均の貿易統計値)} \times 0.0405$$

$$\text{平均原料価格 (10円未満四捨五入)} = \text{LNG平均原料価格} + \text{LPG平均原料価格}$$

### ○ 原料価格変動額の算定

平均原料価格が基準平均原料価格を上回る場合

$$\text{原料価格変動額} = \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格 (124,190円/トン)}$$

平均原料価格が基準平均原料価格を下回る場合

$$\text{原料価格変動額 (100円未満切捨て)} = \text{基準平均原料価格 (124,190円/トン)} - \text{平均原料価格}$$

### ○ 調整単位料金(1m<sup>3</sup>あたりの算定

$$\text{調整単位料金} = \text{基準単位料金} \pm (0.075\text{円} \times \text{原料価格変動額} / 100\text{円}) \times 1.1$$

※原料価格変動額100円につき基準単位料金単価を1m<sup>3</sup>当たり0.0825円(0.075円に1.1を乗じた値)調整します。